

取組の背景と実施内容

当支店では、若手行員が講師となる勉強会を開催。行内プラットフォームで紹介された「着眼点」が参考になると感じた行員が、支店長に相談して独自の勉強会を開始することになった。若手行員が講師となり、週1回発表する形式で進められ、行員同士の経験や知見を共有する場となっている。これにより、若手もベテランも、学び合うことができるようになった。

業界動向を知るきっかけに

企業訪問に関しては、業界の基本的な知識や業界動向を知ることが重要であり、事業者側の視点を理解する必要がある。その点で、訪問前の確認により業界情報が整理されるとともに、業界動向の確認に活かせるようになると考えている。

勉強会では、若手行員が「着眼点」の説明とともに、その業界の最新情報を調査して共有し、参加者は自分の取引先分析を実施することで、具体的なケースにも応用している。また、ベテラン行員がこれまでの経験や知見などからアドバイスすることで、補完している。

第一回目の勉強会では、建設業を取り上げた。若手行員が「着眼点」のポイントを説明するとともに、業種別審査辞典や統計資料等を用いて、業種特性や業界動向を説明した。その後、ベテランが取引先の工事進捗管理に関する資料の紹介や与信管理等、経営事項審査について、説明した。



担当者ヒトコトコメント

「業種別支援の着眼点」をもとに、私自身の取引先様と重ねて発表をすることで業界知見・財務分析を高めることができました。取引先様のさらなる発展を支援できるよう取り組んでいきます！

地域経済を積極的にサポート

当支店のエリアでは、木工や畜産、医療などの産業が多く、地域金融機関とも連携しつつ、国内外のネットワークを活かした幅広いソリューションを提供できるように、地域企業をしっかりとサポートしていきたい。

今後の取組

当支店としては、地域経済を支える地場の企業をしっかりとサポートしていくことを重視している。そのため、地域金融機関との相互補完をしつつ、取組みを進めていきたい。当支店では「マイスター認定制」としてベテラン社員からアンケートをとってプレゼン能力や業界理解度を評価、若手の学習意欲向上にも工夫しており、他の金融機関の見本となるような勉強会を目指している。

資料の活用を進め、より効果的な学びの場を提供することで、地域全体の金融サービスの向上に寄与したいと考えている。



「着眼点」 活用のポイント



01

知識と経験を合わせた支店独自の勉強会

若手行員による業界の特徴や最新情報とベテラン行員の経験をそれぞれ学び合う、独自の勉強会を開催。

02

取引先の分析による応用力の向上

勉強会では参加者が取引先の分析を実施することで、応用力を高める実践的な勉強会としている。

03

業界理解を通じた地域経済への貢献

他の金融機関の見本となるような勉強会を目指し、地域に広げることで、地域全体の金融サービスの向上につなげることを企図している。